

2014年3月期第2四半期 決算説明資料



写真：開発研修センター

2013年11月19日

デンヨー株式会社

目 次

I . 2014年3月期第2四半期決算の概要

取締役常務執行役員管理部門長 白 鳥 昌 一

II . 2014年3月期通期の見通しと今後の経営方針

代表取締役社長 古 賀 繁

2014年3月期 第2四半期決算概要

2014年3月期第2四半期実績ハイライト(連結)

ポイント

- 1. 前年同期比で売上は減少、四半期純利益は増加。
- 2. 固定資産や有価証券売却などにより特別利益210百万円計上。

(単位: 百万円)

	2013年3月期 第2四半期		2014年3月期 第2四半期		前年同期比 増減率
売 上 高	22,459	100%	21,990	100%	△2.1%
営 業 利 益	1,918	8.5%	1,637	7.4%	△14.7%
経 常 利 益	2,008	8.9%	1,812	8.2%	△9.7%
四 半 期 純 利 益	1,243	5.5%	1,281	5.8%	3.0%
設 備 投 資	652		361		
減 価 償 却 費	299		404		
1株当り四半期純利益	54.40円		56.33円		
R O E (%)	6.8%	年換算	6.4%	年換算	
1株当り中間配当金	10.0円		11.0円		

製品別売上高の動向(連結)

概況

- 1. 発電機は419百万円(2.5%)の減少。
- 2. 溶接機は205百万円(8.0%)の減少。
- 3. コンプレッサーは54百万円(13.2%)の増加。

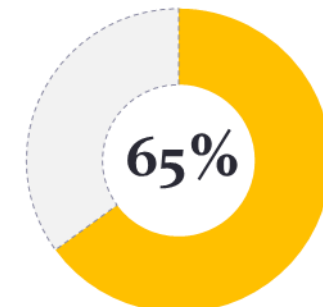
(単位:百万円)

		2013年3月期 第2四半期		2014年3月期 第2四半期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売 上 高		22,459	100%	21,990	100%	△469	△2.1%
製 品 別	発電機	17,094	76.1%	16,675	75.8%	△419	△2.5%
	溶接機	2,574	11.5%	2,369	10.8%	△205	△8.0%
	コンプレッサー	408	1.8%	462	2.1%	54	13.2%
	その他	2,381	10.6%	2,483	11.3%	102	4.3%

エンジン発電機(連結)

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
発 電 機	17,094 百万円	16,675 百万円	△2.5 %

国内は主力のリース・レンタル業界向け出荷が増加。
海外は北米向け出荷が減少。



可搬式エンジン発電機の国内シェア
※当社調べによる

1kVAから 1, 100kVAまでのエンジン発電機を製造

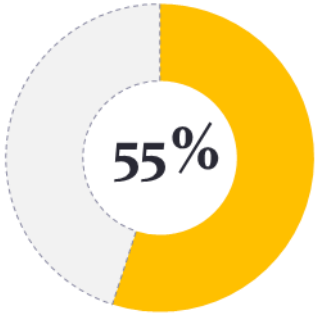
- 建設現場の動力源
- エンジン投光機
- 防災・非常用発電装置
- 電源車
- コー・ジェネレーションシステム
- 常用電源設備



エンジン溶接機(連結)

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	前期同期比 増減率
溶 接 機	2,574 ^{百万円}	2,369 ^{百万円}	△8.0%

国内は省エネタイプの小型機の出荷が増加。海外は減少。



エンジン溶接機の国内シェア
※当社調べによる

野外作業の溶接機として当社が日本で初めて開発。
軽量溶接用の135Aから重量溶接用の600Aのエンジン溶接機
特殊用途のTIG溶接機、CO²溶接機など

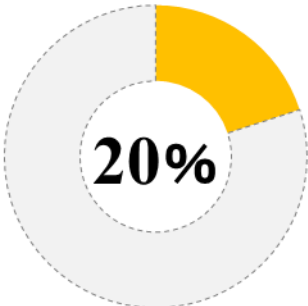
- ビルやマンション、橋梁などの鉄骨建設
- 石油備蓄タンク、パイプラインの建造など



エンジンコンプレッサー(連結)

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
コンプレッサー	408 百万円	462 百万円	13.2%

国内外共に若干増加。



エンジンコンプレッサーの国内シェア

※当社調べによる

- 吐出空気量1.4m³/minから52.4m³/minまで
- 道路工事や海上工事、地質改良工事
 - 山岳道路の土砂崩れ防止のモルタル吹き付け工事
 - 工場で使用する空気工具などの動力源
 - スキー場の人工降雪機用など



そ の 他(連結)

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
そ の 他	2,381 百万円	2,483 百万円	4.3%

国内で仕入れ商品等の出荷が増加。

その他の売上

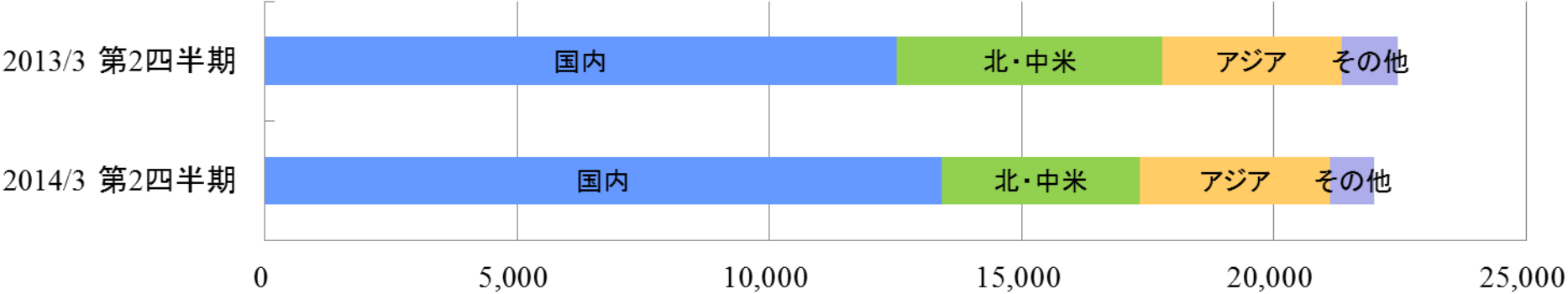
- 高所作業車
- エンジン高圧水ポンプ
- 部品売上
- 中古機や仕入商品売上
- 修理売上など



地域別売上高の動向(連結)

(単位:百万円)

		2013年3月期 第2四半期		2014年3月期 第2四半期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高		22,459	100%	21,990	100%	△469	△2.1%
国内売上		12,529	55.8 %	13,425	61.1%	896	7.2%
海外売上		9,929	44.2 %	8,562	38.9%	△1,367	△13.8%
地域別	北・中米	5,268	23.5 %	3,912	17.8%	△1,356	△25.7%
	アジア	3,545	15.8 %	3,784	17.2%	239	6.7%
	その他	1,116	4.9 %	866	3.9%	△250	△22.4%



営業利益増減の要因分析

営業利益減

・ 販管費の増加が要因。

(単位:百万円)

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	前年同期比 増減
営 業 利 益	1,918	1,637	△281
営業利益率(%)	8.5%	7.4%	△1.1ポイント

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率
売上総利益率	23.9%	23.9%	0.0ポイント
売上高販管費比率	15.4%	16.5%	1.1ポイント
売上高営業利益率	8.5%	7.4%	△1.1ポイント

売上総利益率は、前年同期比同水準。
売上高販管費比率は、減価償却費や人件費の増加等により前年同期比1.1ポイント上昇。

連結貸借対照表

概要

- 1. 流動資産 552百万円の増加は、主に現金及び預金の増加などによる。
 - 2. 流動負債 1,285百万円の減少は、主に仕入債務や未払い法人税等の減少による。
- (単位: 百万円)

	2013年3月期 第2四半期	2013年3月期 期末	2014年3月期 第2四半期	前期末比 増減額
流 動 資 産	33,540	36,413	36,966	552
固 定 資 産	17,318	19,301	20,855	1,553
資 産 合 計	50,858	55,715	57,821	2,106
流 動 負 債	11,831	12,420	11,135	△1,285
固 定 負 債	2,446	3,141	3,511	370
負 債 合 計	14,278	15,562	14,646	△915
純 資 産 合 計	36,580	40,152	43,174	3,022
負 債 純 資 産 合 計	50,858	55,715	57,821	2,106

連結キャッシュ・フローの推移

概要

- 1. 営業活動によるキャッシュ・フロー2,732百万円は、売上債権の減少などによる。
- 2. 現金及び現金同等物の残高は前期末に比べ2,180百万円増加。

(単位:百万円)

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,557	2,732
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△225	71
I + II フリー・キャッシュ・フロー	3,332	2,803
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△766	△765
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	116	141
V 現金及び現金同等物の増減額	2,681	2,180
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	8,970	12,700

2014年3月期通期の見通しと 今後の経営方針

2014年3月期予想～連結損益の見通し

ポイント

- 1. 売上高は、前期と同水準を予想。
- 2. 経常利益は、43百万円(0.8%)の増加を予想。

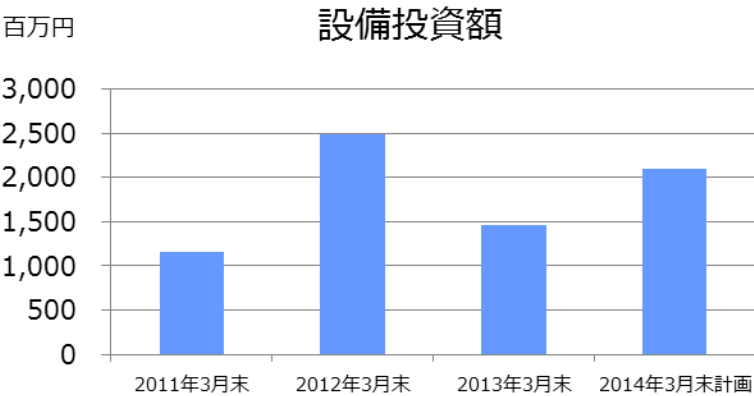
(単位:百万円)

	2013年3月期		2014年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	47,671	100%	48,000	100%	329	0.7%
営業利益	4,652	9.8%	4,700	9.8%	48	1.0%
経常利益	5,007	10.5%	5,050	10.5%	43	0.9%
当期純利益	3,398	7.1%	3,080	6.4%	△318	△9.4%
設備投資	1,458		2,100		642	44.0%
減価償却費	638		850		212	33.2%
1株当り当期純利益	149.00円		135.38円		△13.62円	
R O E (%)	9.1%		7.4%	※株主資本は第2四半期末の金額で計算。		
1株当り配当金(円)	22.0円		22.0円			

設備投資額の推移

(単位: 百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期 計画
設備投資額	1,150	2,480	1,458	2,100
主 な 用 途	<div>・名古屋営業所移転 120</div> <div>・ベトナム工場関連 800</div>	<div>・埼玉研究棟(土地) 744</div> <div>・福井事務棟、社員寮 397</div> <div>・ベトナム工場関連 744</div>	<div>・開発研修センター 814</div> <div>・福井機械等 150</div> <div>・アメリカ 237</div> <div>・ベトナム 127</div> <div>・建物 56</div>	<div>・本社 24</div> <div>・福井 223</div> <div>・西日本発電機 165</div> <div>・ベトナム 500</div> <div>・シンガポール 1100</div>



製品別売上高の見通し(連結)

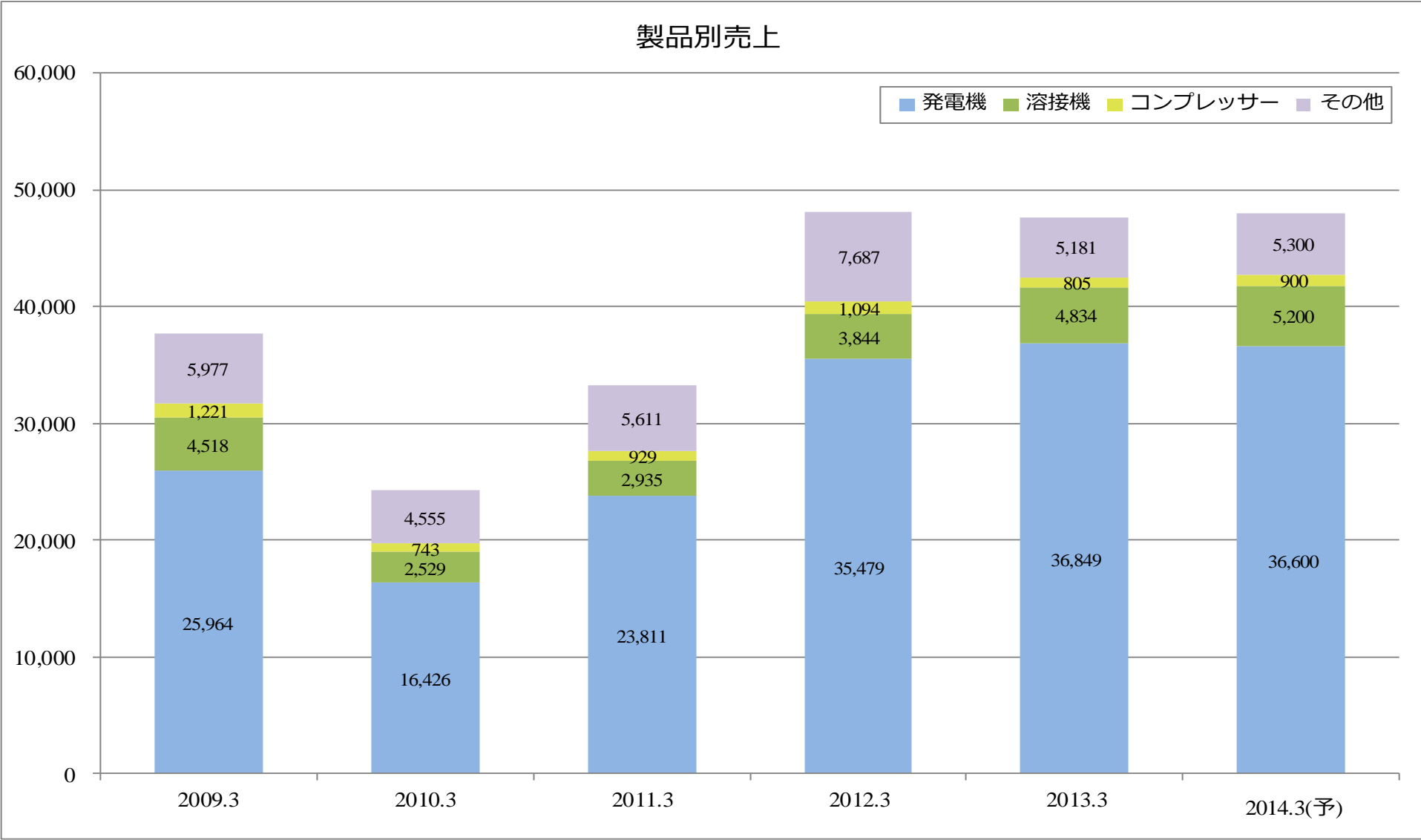
概況

- 1. 発電機は、249百万円(0.7%)の減少。
- 2. 溶接機は、366百万円(7.5%)の増加。
- 3. コンプレッサーは、95百万円(11.7%)の増加。

(単位:百万円)

		2013年3月期		2014年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
売 上 高		47,671	100%	48,000	100%	329	0.7%
製 品 別	発 電 機	36,849	77.3%	36,600	76.3%	△249	△0.7%
	溶 接 機	4,834	10.1%	5,200	10.8%	366	7.5%
	コンプレッサー	805	1.7%	900	1.9%	95	11.7%
	その他	5,181	10.9%	5,300	11.0%	118	2.3%

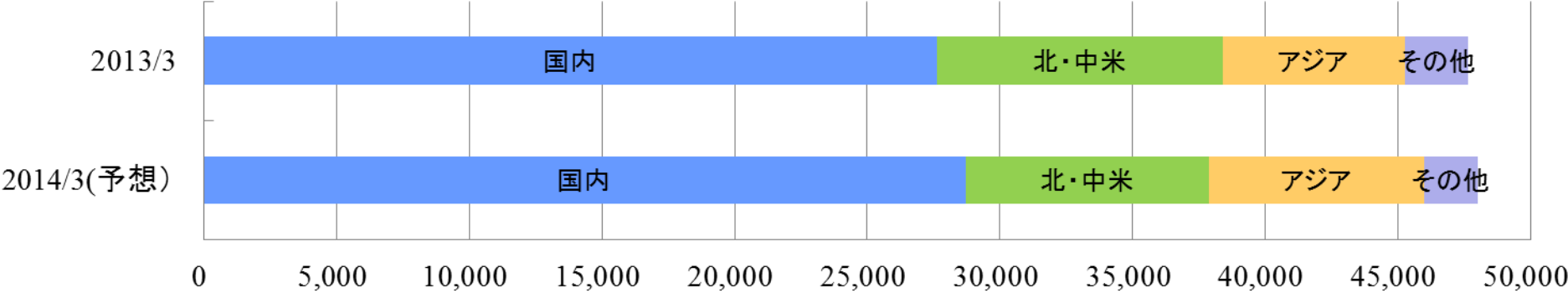
製品別売上高の推移



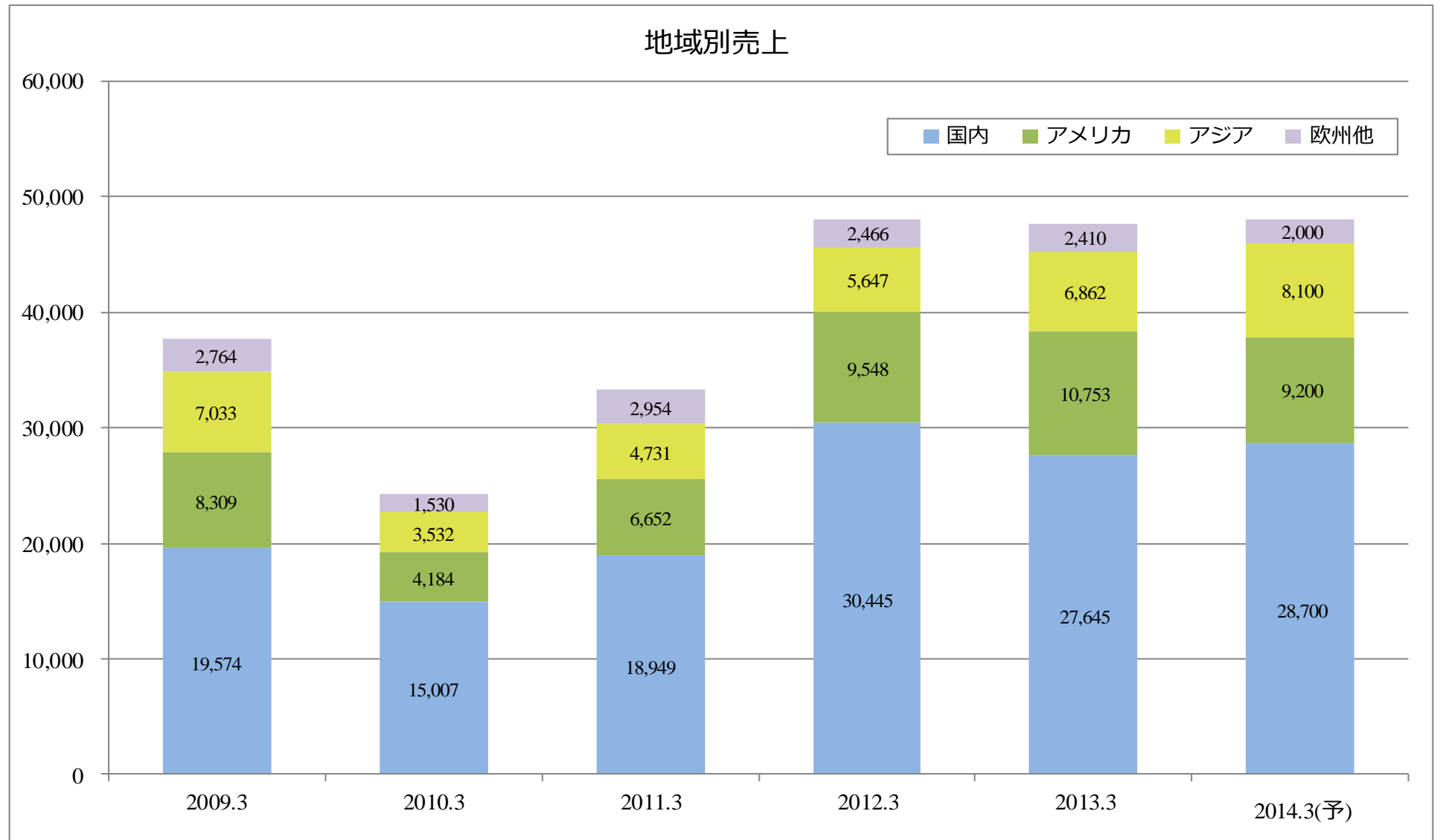
地域別売上高の見通し(連結)

(単位:百万円)

		2013年3月期		2014年3月期(予)		前期比 増減額	前期比 増減率
売上高		47,671	100%	48,000	100%	329	0.7%
国内売上		27,645	58.0%	28,700	59.8%	1,055	3.8%
海外売上		20,026	42.0%	19,300	40.2%	△726	△3.6%
地域別	北・中米	10,753	22.6%	9,200	19.2%	△1,553	△14.4%
	アジア	6,862	14.4%	8,100	16.9%	1,238	18.0%
	その他	2,410	5.0%	2,000	4.1%	△410	△17.0%



地域別推移と予想



営業利益予想の内容

営業利益微増

売上総利益率の改善を主たる要因として、営業利益は48百万円の増加を予想。

(単位: 百万円)

	2013年3月期	2014年3月期(予)	前期比
営 業 利 益	4,652	4,700	48
営業利益率(%)	9.8%	9.8%	0.0ポイント

	2013年3月期	2014年3月期(予)	前期比 増減率
売上総利益率	24.3%	24.6%	0.3ポイント
売上高販管費比率	14.5%	14.8%	0.3ポイント
売上高営業利益率	9.8%	9.8%	0.0ポイント

売上総利益率は高収益製品の販売増等により0.3ポイント上昇。
売上高販管費率は人件費の増加等により0.3ポイント上昇。

今後の経営方針

経営理念：パワーソースをテーマに安全性・経済性・環境性重視の製品造りに徹し、「**三者の得**」を追求。
(使う人、売る人、造る人が各々利益を享受すること。)

経営戦略：

- ①パワーソースのパイオニアとして、技術力と販売のネットワークを駆使し、高性能発電機マーケットのナンバーワンを目指す。
- ②発電機の周辺事業の拡充。
- ③新規事業への参入。

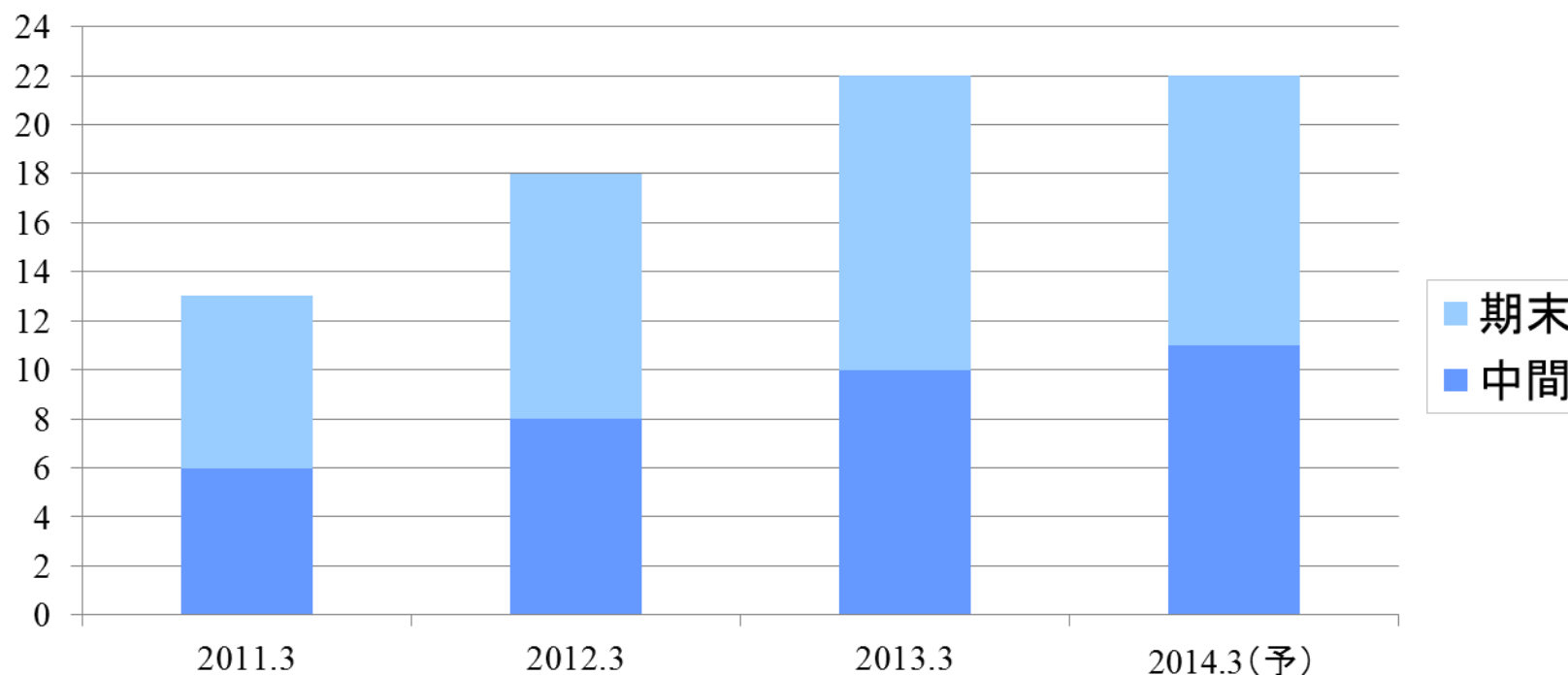
目標経営指標：

- ①ROE 8%以上 (2014.3期予想7.4%)
- ②売上高経常利益率 10%以上 (同 10.5%)

利益配分の方針

利益配分: 収益力の向上と財務体質の強化に努めながら、株主の皆様に対する利益の還元を充実していくことが重要と認識し、業績や配当性向などを総合的に勘案した成果配分を実施

(配当金の推移 12年3月期 18円 ⇒ 13年3月期 22円 ⇒ 14年3月期 22円予想)



今後の事業戦略

ポイント

- ・ 建設関連以外の市場向け製品の拡充
- ・ 環境対応型製品の開発
- ・ 海外事業戦略の強化



エコベース発電機

建設関連以外の
市場向け製品の拡充



防災用・非常用発電機事業の拡充



LPガス非常用エンジン発電機

環境対応型製品の開発



エコベース(環境保護ベース) 標準
装備の発電機・溶接機をシリーズ化
し環境問題へ貢献

海外事業戦略の強化



- ・ アメリカ、アジア、欧州市場の
バランスの取れた販売
- ・ 旺盛なアジア市場に対応すべく
ベトナム工場での完成品製造を
計画

見通しに関する注意事項

この資料には、2013年11月7日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想が含まれています。

今後の経済変動、競合状況などにより、実際の業績が予測と大幅に異なる可能性があります。

あくまでも、情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

当社の I Rに関するお問い合わせ先

トザワ

経営企画室 兎沢・広井・後藤

電 話：03-6861-2304

F A X：03-6861-1185

参考資料

当社の概要

エンジン発電機、エンジン溶接機など野外パワーソースのトップメーカー

沿革： 昭和23年7月2日 「日本電機溶接機材株式会社」として設立
昭和34年 我が国初のエンジン溶接機を開発、発売
昭和36年 エンジン発電機の生産、販売開始
昭和41年 防音装置開発
デンヨー株式会社に社名変更
昭和58年 東証二部上場
平成12年 東証一部上場

● 会社規模など（2013/3期・連結ベース） （単位：百万円）

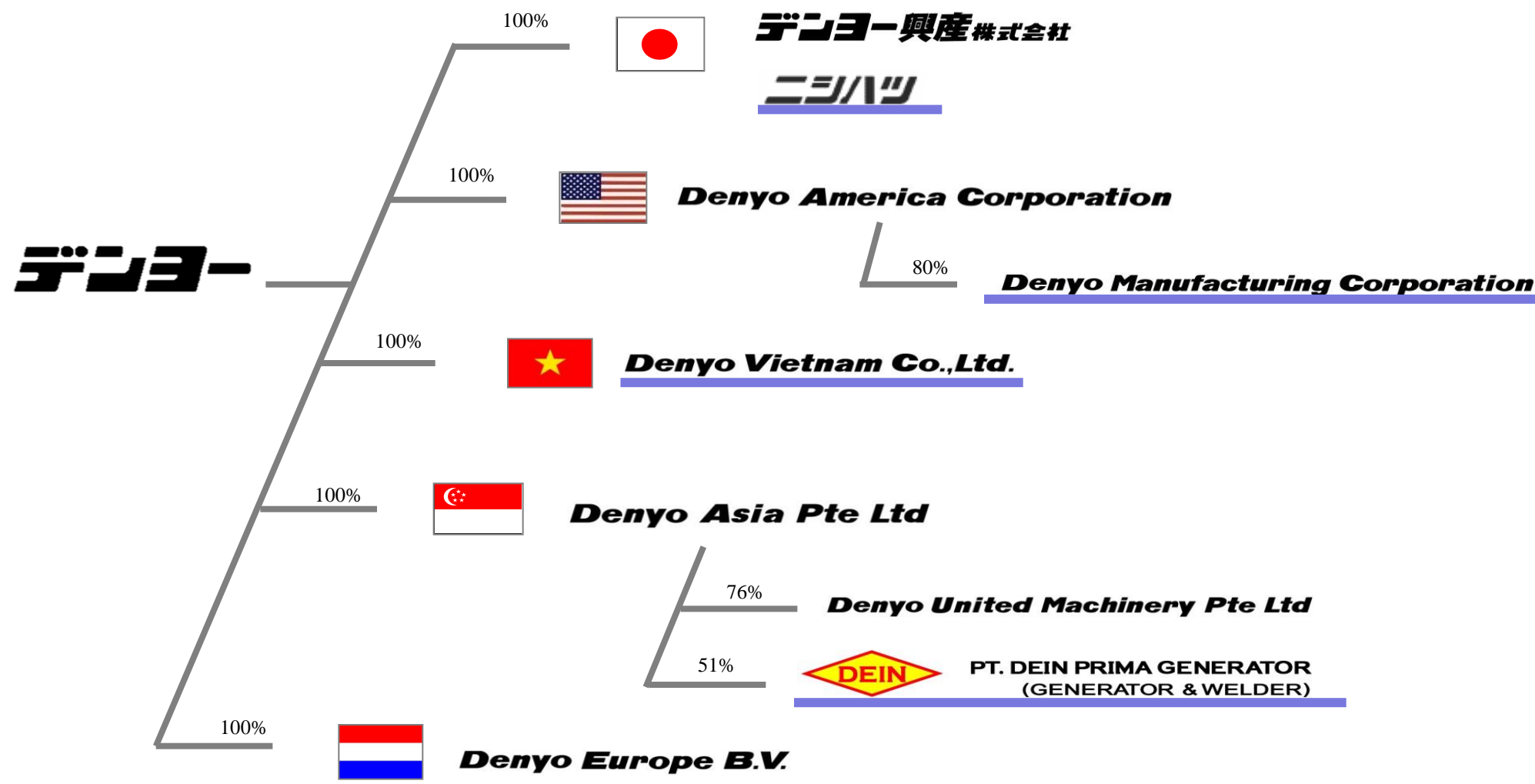
売上高	47,671
うち海外売上高	20,026
経常利益	5,007
当期純利益	3,398
総資産	55,715
純資産	40,152
時価総額（3/31時点）	29,865
従業員数	863 人



本社（日本橋堀留町）

Denyo

グループ会社



※1.この他に持分法適用の関連会社「新日本建販(株)」(出資比率15.7%)があります。
2.下線の引いてある会社は製造会社となります。

過去30年間の業績の推移

